



- 会長／中村文明
- 副会長／林 尚孝・高木克彦
- 幹事／小口 隆
- R 情報(会報)委員長／杉村邦彦

- 事務所／岡谷市中央町 1-4-1・Tel/0266-22-6939・Fax/0266-23-6939
URL: okayarc.org・Email: okayarc@bz04.plala.or.jp
- 例 会／毎週火曜日 PM12:30 ホテル岡谷

第 2913 回例会 2020 年（令和 2 年）8 月 4 日(火)

点 鐘：中村文明 司 会：北澤洋之介
 斉 唱：君が代、奉仕の理想、四つのテスト
 ラッキーNo：NO. 18 守屋麻里
 皆 勤 祝：宮坂宥洪 3 年・山岡俊幸 3 年
 誕 生 祝：濱 俊弘・牛山幸一・北澤洋之介・小口 隆
 高木克彦・山岡俊幸・小林大介



誕生祝

会長挨拶

異常に長い梅雨も終わり夏らしい気候になってまいりました。
 生活の中では報道等による新型コロナウイルス感染者・重傷者数等の増加が気になる所です。
 今年の夏は・家族の帰省・様々な旅行・など皆様の生活も激変したのではないでしようか？
 ロータリー活動では佐藤年度後半より対策が実行されております。
 本年度も特に今まで以上の健康管理・例会出席時のマスク着用・手指の消毒・各事業行事の三密防止安全対策・2600 地区では数々の研修、委員会等殆どがリモート会議で実施されています。

経済では不況の深刻度を推し量る景気指標として「太陽黒点説」が一般的に知られています。太陽黒点の増加周期と、世界の景気の波の周期が一致するというものです。

黒点数＋活動活発 その影響を受け心理的経済活動上向き
 黒点数－活動停滞 その影響を受け、心理的経済活動下向き

日用品から考えると・男性の下着の売上高は殆ど一定で、深刻な不況が発生すると主婦は夫の下着の購入を真っ先に削る様です。

家計調査によると 4 月の 1 世帯あたりの男性用下着購入金額は前年比 42%減、本当に厳しい実態が浮き彫りになりました。

私たちは、知恵を絞りだしこの厳しい局面を乗り越えましょう。

新会員挨拶

紹介・・・林 裕彦会員



- ・片倉 克昭 (かたくら かつあき) 会員 54歳
- ・株式会社 大和製作所 代表取締役社長
- ・職業分類：36 車両 細分類：自動車部品製造

はじめまして。大和製作所の片倉と申します。右も左も分からない若輩者でありますので、皆様よろしくご指導の程お願いいたします。難しい事はよく分からないのですが、本日初めて参加させていただ



き、「奉仕の理想」「四つのテスト」を聞き、感銘を受けました。その中で“世界の久遠の平和”“真実かどうか”“みんなに公平か”“好意と友情を深めるか”“みんなのためになるかどうか”これは社業をやっていくうえで身に染みてやらなければいけないなと思いました。どこまで貢献できるか分かりませんが、社業を推進していく中で、奉仕の理想を頭に描きながら地域に貢献できればなと思います。今後ともよろしくお願いいたします。

会長報告

- ・ 今月の例会は本日と8月25日です。長野県も新型コロナウイルスの感染者が増え始め、先ほどの理事会に於いて、お盆過ぎの推移を見て8月25日の例会を行うか、会長・幹事の判断で決めさせていただきく事としました。中止の場合はメールで連絡いたします。何も連絡がなければ行いますのでお願いいたします。

幹事報告

- ・ 8月11日と18日は休会です。次回は8月25日、会場はメモリーですのでお間違いないようお願いいたします。
- ・ 片倉克昭新会員は、親睦委員会への配属となります。
- ・ 今年度は太田屋さんと山城屋さんのお弁当が何回かありますが、会場に入る際入口でお弁当を持って席にお着きください。
- ・ 地区大会の案内をお配りしました。今年度は10月4日、1日のみの開催です。
- ・ 8月のRレートは、1\$=105円です。

委員会報告

IM実行委員長 先ほどの理事会に於いて2020-21年度諏訪グループIM実行委員会組織図が承認されました。後ほどメール、FAXでお送りいたします。IMは皆様のお力がないと開催できませんので、是非ご協力をよろしくお願いいたします。

会則特別・クラブ戦略委員会 先週の委員会に於いて、定款、細則6項目の見直しをし、皆様にお送りいたしました。ご意見がないようですので、今年度のクラブ計画書に反映いたします。よろしくお願いいたします。



卓話「最近の経済動向と新型コロナウイルスの影響」

片桐伸介会員

皆さんこんにちは。今日は景気の良いお話をしたかったのですが、どう考えても景気の良いお話ができないことに、最初にお詫び申し上げますので、どうぞお付き合いよろしくお願いたします。ほとんど皆さんご承知かとは思いますが、資料に沿ってお話しさせていただきます。

1. 最近の経済情勢 (1) 世界経済見通し

IMFが6月に公表した世界経済見通しによれば、2020年見通しについて、今年1月はブラズの成長予想だったが、6月は大幅に下方修正をし、マイナス成長見通しとなった。

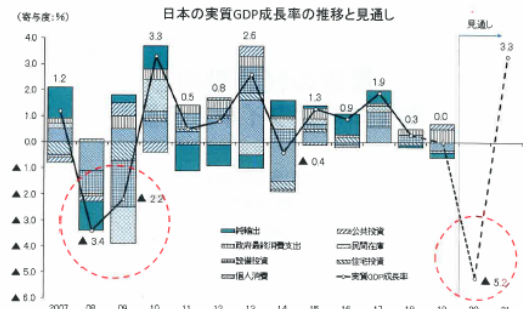
世界経済見通し(暦年) (単位:%)

予見期間(暦年)	2018	2019	2020 予測	2021 予測
世界	2.8	2.8	▲4.3 (▲1.9)	3.4 (▲0.4)
米国	2.9	2.3	▲8.0 (▲2.1)	4.5 (▲0.2)
ユーロ圏	1.8	1.2	▲10.2 (▲2.7)	8.0 (1.3)
日本	0.3	0.7	▲5.9 (▲0.8)	2.4 (▲0.8)
新興国・途上国	4.5	3.7	▲2.0 (▲0.7)	5.9
中国	6.7	6.1	1.0 (▲0.2)	8.2 (▲1.0)
インド	6.1	4.2	▲4.5 (▲8.4)	8.0 (▲1.4)
ブラジル	1.3	1.1	▲9.1 (▲3.0)	3.9 (0.7)
ロシア	2.5	1.3	▲6.9 (▲1.1)	4.1 (0.8)
ASEAN	5.3	4.8	▲2.0 (▲1.4)	6.2 (▲1.8)

(資料)世界経済見通し「World Economic Outlook 2020年6月見直し」
(注)実質国内総生産、2019年実績(2020年4月推定)の年率増減率を示す。
ASEAN: インドネシア、マレーシア、フィリピン、タイ、マダガスカル

(2) 新型コロナウイルスの影響が直撃する日本経済

新型コロナウイルスの影響により2020年度の日本経済は、2014年以来的マイナス成長となり、民間シンクタンクでは08年のリーマン・ショックの▲3.4%を上回る落ち込みを予想。



(資料)内閣府「国民経済計算」をもとに作成。見直しは民間主要シンクタンク社を集計した見直し

国内民間シンクタンクの経済見通し

民間シンクタンクの見通しによれば、2020年度の我が国経済は、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う企業業績の悪化や世界経済の落ち込みによる影響が大きく、マイナス成長が見込まれている。当面のリスク要因は、新型コロナウイルス感染拡大の第2波、第3波が到来し、再び経済活動が停滞すること。さらに、新興国を中心に感染拡大が収まらず、世界経済の回復が遅れも不安材料となる。その他、米中貿易摩擦の長期化、英国のEU離脱、各地の地政学リスク、米国大統領選挙などが挙げられ、21年度CPI回復を果たせるか、経済は不確実性の高い状況が続くとみられる。

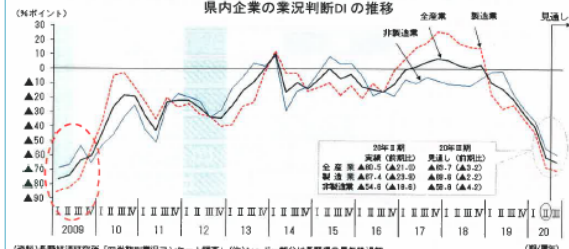
民間調査機関の2020年度経済見通し(1-3月)の平均(%)

機関	2020年度 実質GDP 見直し	2020年度 実質GDP 見直し	個人消費	公共投資	民間投資	輸出	輸入	2021年度 実質GDP 見直し	2021年度 実質GDP 見直し
S M B C I 調査	▲4.5	▲4.3	▲5.1	▲6.4	▲1.4	▲0.2	▲16.4	▲10.5	3.7
日本総合研究所	▲3.8	▲4.5	▲5.2	▲13.0	▲5.8	1.7	▲15.2	▲10.2	2.9
三菱UFJリサーチ&コンサルティング	▲3.8	▲4.8	▲4.8	▲8.7	▲0.4	0.8	▲12.2	▲7.2	4.4
慶応大学総合研究所	▲3.1	▲5.0	▲4.3	▲10.1	▲10.2	0.8	▲15.0	▲8.3	3.0
大塚経済研	▲4.5	▲5.1	▲5.2	▲8.2	▲7.2	▲0.3	▲17.2	▲11.5	2.5
第一生命経済研究所	▲4.4	▲5.3	▲4.9	▲10.9	▲5.8	2.8	▲14.1	▲5.3	3.6
ニッセイ基礎研究所	▲5.2	▲5.4	▲5.7	▲11.7	▲8.3	1.8	▲20.0	▲14.1	3.7
日本経済研究センター	▲7.1	▲6.8	▲9.0	▲14.1	▲8.8	2.0	▲35.5	▲19.2	3.7
民間調査機関平均	▲4.8	▲5.2	▲4.8	▲10.4	▲7.0	1.1	▲18.7	▲11.0	3.2

(資料)民間調査機関の2020年度経済見通し(1-3月)の平均(%)
CPI: 2019年実績、2020年推定
CPI: 2019年実績、2020年推定

(3) 長野県経済の現状 景況感は大規模悪化、見通しも悪化予想

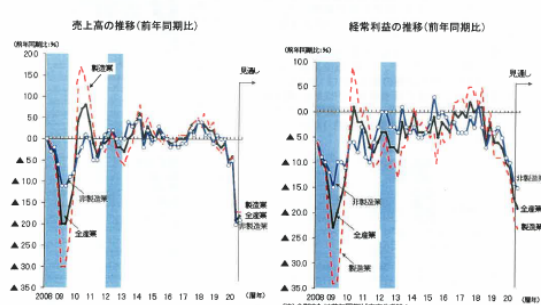
長野経済研究所が7月に実施した「県況アンケート調査」によると、2020年4~6月期の県内企業の況判断DI(景況が「良い」と答えた企業割合-「悪い」と答えた企業割合、%ポイント)は、全産業が▲60.5と6期連続の悪化となり、リーマン・ショックで落ち込んだ(08年7~9月期、▲63.5)以下の水準まで悪化した。この水準は、ほぼ前回調査(20年1~3月期)の見通し(▲59.4)通りとなっている。業種別では、製造業は▲67.4と前期に比べ23.9ポイント、非製造業も▲54.8と同18.8ポイントの大規模悪化となり、いずれもリーマン・ショック時以来の水準まで落ち込んだ。20年7~9月期は、全産業が▲63.7と前期に比べ3.2ポイント悪化する見通し。このうち製造業は▲69.6と同2.2ポイント、非製造業は▲58.8と同4.2ポイント、それぞれ悪化する見通し。



(資料)長野経済研究所「四半期別県況アンケート調査」(注)シャド部分は長野県の景況感推移

企業業績は厳しい状況が続く見込み

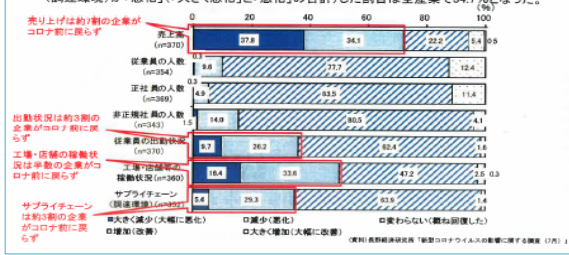
20年4~6月期の売上高、経常利益は、製造業、非製造業ともにリーマン・ショック以来の大幅な減少率となり、見通しも引き続き厳しい状況が予想される。



(資料)長野経済研究所「四半期別県況アンケート調査」(注)シャド部分は長野県の景況感推移

2. 新型コロナ感染拡大前と比較した現在の経営状況

長野経済研究所が7月に県内企業約400社から回答を得た「新型コロナウイルスの影響に関する調査」によると、感染前(2020年1月末)と比した足元の売上高の状況については、「減少(大きく減少)(37.8%)と「減少(34.1%)の合計」という回答割合は全産業で71.9%となった。業種別には、製造業が77.9%と高くなっている。雇用面では、従業員の人数は「変わらない(概ね回復した)」が77.7%となった一方、従業員の出動状況は「減少(合計)」が35.9%となっている。工場・店舗等の稼働状況は、「減少(合計)」の割合は全産業で50.0%であり、サプライチェーン(調達環境)が「悪化」「大きく悪化」と「悪化」の合計した割合は全産業で34.7%となった。



(資料)長野経済研究所「新型コロナウイルスの影響に関する調査」(7月)

新型コロナウイルス禍での経営全般の対応状況

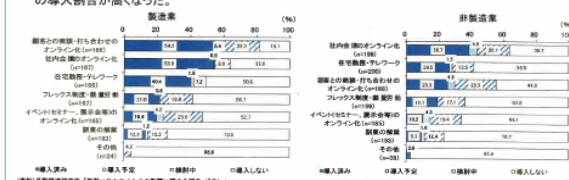
新型コロナウイルス禍での経営全般の対応で、全産業で「実施済み」のものは「当面の資金確保」が38.4%と最も多く、次いで「生産・販売計画の見直し」が27.1%、次いで「経営戦略(予定していた施策等)の見直し」が19.6%となった。業種別にみると、製造業は「当面の資金確保」が43.7%と最も多く、次いで「生産・販売計画の見直し」が34.9%、「BCP計画の実施」が19.1%となった。非製造業でも「当面の資金確保」が33.8%と最も多く、次いで「経営戦略(予定していた施策等)の見直し」が22.4%、「生産・販売計画の見直し」が20.3%と続いている。



(資料)長野経済研究所「新型コロナウイルスの影響に関する調査」(7月)

新型コロナ感染防止の対応策

新型コロナ感染防止の対応策で、「導入済み」の割合が最も高い項目は、「社内会議のオンライン化」が45.6%で、次いで「顧客との商談・打ち合わせのオンライン化」が38.9%となっている。業種別に「導入済み」の対応策をみると、製造業では「顧客との商談・打ち合わせのオンライン化」が54.2%と最も高い割合となり、次いで「社内会議のオンライン化」が53.9%、「在宅勤務・テレワーク」が40.4%と続いた。非製造業では、「社内会議のオンライン化」が38.7%と最も高く、次いで「在宅勤務・テレワーク」が26.5%、「顧客との商談・打ち合わせのオンライン化」が25.3%となった。これらは、いずれも製造業の導入割合が高かった。



(資料)長野経済研究所「新型コロナウイルスの影響に関する調査」(7月)

